2019年8月23日
中川小桜愛児園

今年の夏も暑くなり、夏ならではの遊びがたくさんできました。プールや水遊びだけでなく、氷やゼリーなどの感触あそびや色水遊びなど、大きい子から小さい子まで楽しんでいました。

夏の風物詩「かき氷やさん」が、子どもたちからの発案で中川小桜愛児園に開店するようです。開店準備は、さくらさんとばらさんで行われています。どのクラスを招待するかを考えたり、手分けをしてチケットを作ったり。呼び込みのプラカードを作ってくれた子もいました。お店屋さんになりきって、小さい子たちに喜んでもらおうと張りきっています。まだお店には発展していませんが、花束を各クラスに作ってくれた子もいました。

去年までのお店屋さんごっことは違い、一つのお店を子どもたちが「自ら考え、作りあげる経験」は、大人になっても必要な力へと成長していくことでしょう。これからも、子どもたちの様々な力が育つような保育を心掛けていきます。

＜運動会について＞

今年も暑い日が続いています。10月5日の運動会に向け練習を行う中で、園庭での練習は熱中症の危険があるため、今年度はホールでの開催とさせて頂きます。
来年度以降は、幼児、乳児で分けて行うか、他の場所で行うかなど検討していきますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

9月の行事予定

2 日 （月） 身体測定（すみれ、たんぽぽ）
避難メール訓練
3 日 （火） 身体測定（さくら、ばら、ちゅうりっぷ）
4 日 （水） 保育参加（ばら）
5 日 （木） 誕生会
6 日 （金） プール納め
9 日 （月） 体操教室（さくら、すみれ、たんぽぽ）
10 日 （火） キッズイングリッシュ（さくら、ばら）
11 日 （水） おじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう
～13日（金）
18 日 （水） 避難訓練
24 日 （火） キッズイングリッシュ
（さくら・ばら）
保育参加（すみれ）
27 日 （金） 運動会総練習

「おじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう」へのご参加お待ちしています。
ご希望の方は担任まで、お声掛け下さい。詳細については8月の園だよりをご覧ください。

９月１日は防災の日になります。

★避難メール訓練を９月２日（月）に行ないます。
今年度も園の災害用携帯に登録されている方に送信し、しっかり届くかの確認をします。災害があった時どう行動すべきかの確認をこの機会にご家族で話し合っていただきたいと思います。
登録がまだお済みでない方は、早めに登録をお願いします。
※引き取り訓練ではありません。

★　もしこども達が園にいる時に、横浜市内で震度5強以上の地震が発生した場合は引き取りメールを送信しますので、お迎えをお願いします。
この建物に損傷が見られる時は中川西中学校に避難することになります。移動する際は張り紙など致しますので、ご確認ください。
また、園の携帯に登録されている方には安否などメールにてご連絡させていただきます。
まだ登録されていない方はアドレスをお渡ししますので、職員にお声掛けください。（出来ればご両親ともに登録お願いします。）
アドレスの変更をしている方は、書き換えが必要になりますのでご連絡お願いします。

知っていると役立つ！

防災豆知識

・乾パンを子どもに食べやすくするには？

固い乾パンも、砕いて牛乳や水に浸すと軟らかくなり、
スキムミルクなどをかければ、さらに栄養価もアップします。

・水道が途絶しているときは？

手洗いや子どもの顔拭き、歯磨きなどには、
濡れティッシュ（ノンアルコールタイプ）が役立ちます。
防災グッズに必ず加えておきたいですね。

・災害用伝言ダイヤル

「171」（「いない」と読むと覚えやすいです）
毎月１日・15日　0時～24時の間に体験利用ができます。

こどものとも社　清水さんの　絵本紹介

確認できることの大切さ！　口が疲れます。口角があがるかも。

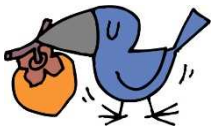
「ぶたぶたくんのおかいもの」　土方久功さく/え

ぶたぶたくんが初めてのお買い物に出かけます。時代が変わっても、どの子どもさんも必ずいつかは体験することでしょう。（今だと SUICA やナナコでコンビニが初めてのおつかいになる子どもが多いようです。）私も長女にカレールーを買いに行かせて、心配で家の前で待っていたのを思い出します。

外へ出かけて、家に帰ってくる絵本は子どもたちにとても**安心感**があるようです。我が家から保育園へ出かけ、うちに帰ってきたときのちょっとした**安堵感**は日々の繰り返しで育まれる帰属意識や**自分の居場所**を**再確認**するために大切なことだと思います。（これは大人も同じだと思います。海外旅行にでかけて成田空港に着いて日本語表記に囲まれたとき、初めての人と何かをしたり、慣れない事をした一日の終わりに**家庭・家族と過ごす時間の居心地の良さ**など）

言葉のリズム感やスピードも子どもたちが喜ぶ理由だと思います。早口の八百屋のお姉さんにゆっくりすぎるおかしやのおばあさん。おしゃべり好きなのか台詞がとにかく長いぶたぶたくんに対し、年上のおおきいくまは「あわてるな」「ばあい（ばいばい）」と短い言葉でダンディーに話します。このめりはりが楽しいのでしょう。

最後の地図も子どもたちが喜びます。迷路的な楽しみがあるのでしょう。「ここを通ったんだね」と指でルートをなぞって**確認**したり、反対まわりを試してみたり、公園によってみたり、矢印（→）の数が途中で増えたり減ったりするのに気付いて「そういうことか！」と納得したりします。（→の数は登場する動物を表しているので途中で増えたり減ったりします。）**整合性**があり、自分で**再確認**できることは誰かに指示されて確認するのとは違います。考えていたことが合っているかを知り、「やっぱりね」「そうだと思った」は自信になります。たとえ違っていても、自ら気付くのですから「そうだったんだー！」と他の物事を受け入れやすい（**他者受容**）ようです。



同じ作家さんで「ゆかいなさんぽ」という絵本があります。こちらはもっと口が疲れます。そういう絵本に限って「おかわり！」をねだられます。